

# 生活保護申請23万件

前年度比0.8%増 2年連続で増加

2021年度の生活保護の申請件数は前年度比0.8%増の22万9878件(速報値)となったことが1日、厚生労働省の調査で分かりました。前年度を上回るのは2年連続。同省は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引き、依然として

厳しい雇用情勢が続いているとみています。厚労省が同日発表した今年3月の新規申請件数は、前年同月比13.4%減の1万9793件(速報値)。前年同月比で申請件数が減少するのは3カ月連続となりましたが、コロナ前と比べると高い水

準にとどまっています。

3月時点の生活保護の全利用世帯数は16万2821世帯で、前年同月比12.8%世帯の増加。一時的に保護停止中の世帯を除いた内訳では、高齢者世帯が半数以上を占めています。一方、失業者を含む「その他の世帯」は全体の15.3%の24万9896世帯で、同2216世帯増えました。